

## 平成27年度 民国連携打合せ会議の開催

去る、平成27年5月18日（月）茨城森林管理署において、平成27年度民国連携打合せ会議が開催されました。

この会議は一般会計化以降、毎年茨城県と開催されており、今年度は関東森林管理局から次長を始め関係者4名が加わり活発な意見交換がされました。



次長の挨拶では、一般会計の大きな趣旨の一つが民国連携である、旨の説明があり、茨城県と連携を密にして事業を進めていきたい、との挨拶がありました。

続いて茨城県の次長兼林政課長より、高性能機械の導入

〔全体会議の様子〕

が徐々に進んできている。一貫作業システムについてもモデルの形作りを国にしてもらい、地域に浸透させていきたい。また、木材の安定供給のための施策も作っていき、山村の振興を進めたい、旨の挨拶がありました。



情報交換では、関東森林管理局担当課長より、平成27年度重点取組事項等の説明があり、続いて茨城森林管理署長より茨城の国有林について、平成27年度の事業量の説明・公益重視の管理経営の一層の推進・木材の安定供給・林業の低コスト化等について説明がありました。

茨城県からは、民有林の現況・宮の郷工業団地の木材関連施設等について、10項目に亘る説明がありました。

意見交換の場では、忌憚のない意見が多数出され、予定時間を大幅に超過し、会議終了となりました。

翌日には、宮の郷工業団地内にある、日立造船(株)の木質バイオマス発電所の視察を行いました。

この発電所は、平成27年11月本格稼働を目標として進めている施設で、年間丸太で約8万トンの燃料を使用する施設で、発電規模は、一般家庭約3,000軒分となります。



[建設中の日立造船(株)発電施設]